

田整備ほ場

米づくりの要点

初年目のほ場整備田は、切り盛りや盤土の投入による土壌の条件の変化、区画の整理、用排水路の整備等従前の水田とは質、形共に変化している。そこで、水管理、肥培管理を適切に施す必要があります。

間断灌水の励行

整備初年目は作土表面の均平が十分でないため水管理が難しい。とりわけ用水が深く長く溜っていると稲の根は腐る。七月に入ったら、浅水で間断灌水を励行する。例えば、三日灌水二日落水。

赤枯病の症状と対策

植付後二〜三週間頃から、下葉に褐色の斑点が出たり、葉が黄化して生育が停止することがある。又、根の状態に活力がなく、白根が少い事などが特徴と云える。

原因は、整備ほ場は、土壌をネリまわしているため、土中の酸素不足による根の窒息、有害物質の生成によるもの。対策としては、発生を認めたら、直ちに落水して軽く割目が入る位まで田を干して酸素を土中にいれることである。

施肥・深い所は施肥は控目に

町の水稲栽培基準によるが、分けつ肥は、N成分一〇a当り五kg位を田植後一〇日までに施し、早期分けつを促す。

特に整備ほ場は、深い所の部分は肥料が運効きし、倒伏するので表層に施し、量は控目にする。

更に穂肥は、出穂前二〇日位を基準に、色の抜け具合を見て、早遅の時期、施肥量を定める。

特に整備ほ場の深い所は、色があせてから、遅目に施用する。

病害虫防除

排水が悪い所、耕土の深い所では、茎葉が過繁茂し、病害虫発生誘因となる。特に紋枯病は二回防除を期す。

田面排水を良くし中干の徹底を

整備ほ場では、地下浸透が少いため田面に滞水し、低い所では、中干が出来ない。

中干は強度に行い、耕土中に、大きいヒワレが入るようにすれば表面水が地下に流れる様になる。時期は、七月一〇日頃から七月二〇日頃の間。

これを怠ると、秋に刈取機が入らぬばかりか、来年春まで、機械が入らない。

低い滞水する所から、排水口まで、しっかりと手溝をつけよう。時期は中干の時まで、土が柔いうちが、やり易い。

(日置農業改良普及所)



(上地区ハウス団地)

ハウス施設西瓜 出荷最盛

上地区施設園芸組合、久行さん外六名、事業費三千四百万円で設置したハウス施設の西瓜の出荷が今、たけなわである。

事業の完工後、去る三月一〇日頃より定植した西瓜が、ハウス面

積一二棟の七、七六五平方メートルに栽培の努力が結って、立派に育った。

病気や障害もなく順調な成育で一玉、平均八kgの玉ぞろいが予想されており、市況もkg当り、一五〇円と好調で、約六二も、六二〇万円の水上げを期待している。

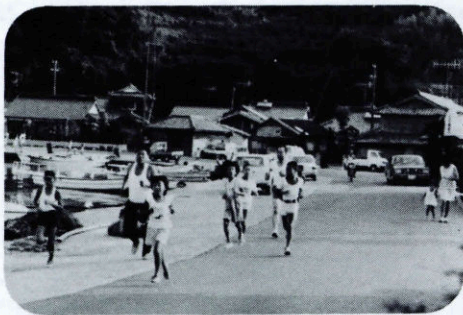
西瓜の出荷後は九月中旬より、本命のいちごを定植する。

夏の健康増進運動月間

七月八月

夏期は衛生的環境条件が悪化する中で、心身の円滑な活動が阻害されて体力の低下を招きやすく、又消化器系等の疾病にもかかりやすい季節であるため、夏期における健康の保持と増進のための保健衛生思想の向上を図ろうとするものであります。

健康生活の基礎である活動と休養の生活リズムを守り、栄養と睡眠を充分とってこの夏をのりきりましょう。



農業者年金の一部改正

一部改正

このたび、農業者年金にかかる後継者の加入の救済措置の法律改正が、行なわれましたので、あらましを、お知らせします。

◎救済措置の概要

将来、農業経営主となることが見込まれる農業後継者でありながら、農業者年金への、加入時期を逸し、加入できなくなっている者について、救済措置により、加入できる事になりました。

◎救済対象者の要件

①大正8年7月3日から昭和15年1月1日までに生まれた者(ただし、大正8年7月3日から大正9年1月1日までの間に生まれた者は、60歳に達する日の、前々日までに、申出を、しなければなりません。)

②基準日に次の要件を満たしている事。

別 表	《基準日》
区 分	
大正8年7月3日から大正9年1月1日までの間に生まれた者	昭和49年7月1日
大正 9. 1. 2~昭和11. 1. 1	昭和50. 1. 1
昭和11. 1. 2~昭和12. 1. 1	昭和51. 1. 1
昭和12. 1. 2~昭和13. 1. 1	昭和52. 1. 1
昭和13. 1. 2~昭和14. 1. 1	昭和53. 1. 1
昭和14. 1. 2~昭和15. 1. 1	昭和54. 1. 1